

令和3(2021)年度事業報告

(令和3年4月1日から 令和4年3月31日まで)

1. 会議の開催

理事会	3回(決議の省略の方法による理事会招集3回)
評議員会	2回(決議の省略の方法による評議員会招集2回)
企画運営委員会	3回
研究助成金選考委員会	1回

2. 令和3年度各事業の状況報告

(1) 肝炎・肝癌に関する専門研究の企画、統括、解析、公表

1) 専門研究(論文発表: 研究主幹 SMF アクバル 先生)

- ① Innovative management strategy for treatment of hepatitis B. Azerbaijani J Surgery 2021;1: 24-27
- ② Chronic hepatitis B: road to evidenced-based therapy. [Review]. J Clinical Research and Clinical Case Reports; 1(2): 1-9 (2021)

2) 財団ニュースの発信

平成30年7月より紙媒体「財団だより」からホームページ「財団ニュース」に新設発行。財団事業・予定等を掲載した。

(2) 医療従事者を対象とする肝炎・肝癌の予防・治療に関する研修会の開催

第1回: テーマ 「B型肝炎に関する最新トピックス」(座長 脇田 隆字 先生)

日時 令和3年7月3日(土) 13:00~17:00
オンラインWeb開催 (71名参加)

第2回: テーマ 「HEVの感染実態と研究の最前線」(座長 岡本 宏明 先生)

日時 令和4年2月5日(土) 13:00~17:00
オンラインWeb開催 (34名参加)

(3) 一般市民及び企業を対象とする肝炎・肝癌の予防・治療に関する講演会の開催

1) 第26回肝臓病医療講演会: 「肝癌早期発見のポイントと6種類の薬の使い分け」

日時 令和3年9月26日(日) 14:00~16:00
オンラインWeb開催 (45名参加)

演者 泉 並木 先生

2) 小規模な相談会を含めた講演会: 「B型肝炎と新型コロナウイルス感染症に関する最新トピックス」

日時 令和3年10月24日(日) 14:00~16:00

場所 宮川庚子記念研究財団 会議室・Web併用 (28名参加:会場9名)

演者 四柳 宏 先生

(4) 肝炎・肝癌研究者を対象とする研究助成金の交付

研究助成金選考委員会において研究助成者2名(応募6件)を選考し、理事会で決定した。

奥新 和也(おくしん かずや) 先生 東京大学医学部附属病院 感染制御部

テーマ: 胆汁酸トランスポーター遺伝子改変マウスを活用したNASH病態の解明

安井 豊(やすい ゆたか) 先生 武蔵野赤十字病院 消化器科

テーマ: 進行肝細胞癌患者における薬物療法中の末梢血免疫チェックポイント分子濃度の意義

(5) 医学功労者の顕彰

「輸血医療対策と輸血後肝炎予防策に対する貢献」

元東京女子医科大学教授 清水 勝 先生

3. 付属明細書

該当事項なし

以上